

令和4年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022019

プロジェクト名 NU EXPO 2022 -つながる地域 つながる未来-

プロジェクトの概要

16学部87学科からなる日本一の規模を誇る総合大学の強みを生かした日本大学の研究領域や技術を、社会に発信する体験型の博覧会を愛知県豊田市にて開催しました。今回は「未来のその先」をテーマに、主に理工学部、文理学部の協力を得て、宇宙エレベーターロボットや惑星探査ローバー、情報化社会の中で注目を集める遠隔コミュニケーションロボットやVRを使ったオープンキャンパスなど15種類の展示物を出展し、地域を超えた新たな大学地域連携の形を創り出すことを目指しました。また、芸術学部との連携によって「誰でもどこでも繋がる社会」を目指していく上で象徴的となるオブジェクト「どこでもドア」を作成および展示しました。

プロジェクトの結果・成果

実際の博覧会イベントは2022年10月27日(木)と28日(金)に愛知県豊田市の豊田市駅前芝生広場にて行いました。この2日間は年に一度全国に62箇所ある中核市の市長や議員が集まって意見交換を行う「中核市サミット」が行われる日程であり、2022年度は豊田市での開催でした。豊田市は文理学部にある次世代社会研究センター(RINGS)が提携を結ぶ街であり、豊田市役所のご協力をいただいて、中核市サミットの開催に合わせて博覧会を開催することができました。そのため、豊田市にお住まいの方だけでなく、北海道から沖縄県まで全国各地の約500名の方が、日本大学の研究領域や技術を見聞きたり体験して下さることとなり、後日様々な市から「日本大学と連携して新たな取り組みを行いたい」という嬉しいお問い合わせをいただきました。さらに、博覧会当日にボランティアとして参加して下さった高校とも、NU EXPOをきっかけに新しく提携を結ぶことになり、地理的条件に囚われずに継続した連携に至っております。このように、本学の魅力や取り組みを社会に発信する機会を生み出し、さらには新たな連携を構築するきっかけを、学生が主体となって創ることができたことは今回の主な成果です。また、今回のプロジェクトで作成された「どこでもドア」は豊田市長が引き取って下さり、プロジェクト実施後もフォトスポットとして観光名所や公共施設を順番に回るなど、現在も有効活用していただいております。なお、今回の取り組みは豊田市の公式ホームページや広報、日本大学文理学部ホームページ、中日新聞、日本大学新聞などに取り上げていただきました。

活動写真

